

第4回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会
(第11回基盤整備推進部会、第9回まちづくり推進部会) 主なご意見等

開催日時：平成30年6月29日（金）16:00～18:00

開催場所：大宮ソニックシティ 4階 市民ホール 第1集会室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 久保田教授
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 窪田教授
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部 担当部長
交通事業者	西武バス 取締役運輸計画部 計画課 副長（代理）
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 事務局長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 道路協議係長
関係行政機関	大宮警察署 交通課 交通規制係長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長

関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	埼玉県 産業労働部 観光課 主幹
オブザーバー	都市再生機構(東日本都市再生本部 事業企画部) 事業企画第2課担当課長

■今年度の取り組みについて

【⇒事務局からの回答】

- ・ガイドラインを定め、どういう階高の調整をしていくかの話し合いも必要になる。開発街区の駐車場を地下車路でネットワークしていくということについても、あらかじめ地下の階高を統一していないと有機的にネットワークしていかない。
 - ・大宮らしさを議論していくときに、青空が見えることが必要ではないか、グラウンドレベルに下ろしていくデッキのあり方についても考えていく必要がある
 - ・駅前空間の環境全体に関わる立体的な土地利用のあり方について、民間・公共と分けずに、上層階のあり方も含めて検討していく必要がある。
 - ・建物のボリューム感や容積、高さは景観にも関わってくる。スケジュール感として、いつ議論されるのか。
- ⇒建物のボリューム等については、ガイドラインの検討に合わせ、構想の実現案を検討していく中で各街区の皆さんと話をしていく。
- ・ガイドラインについて、規制、強制力はどのように考えているのか。
- ⇒将来的には例えば地区計画や都市再生緊急整備地域の活用が考えられるが、全てに対して、規制がかかるわけではないと考えており、地区計画に移行する部分や全体で守っていく緩やかなルールづくりに当てはまる部分、そういった仕分けは必要だと考えている。

■開発街区改良案について

- ・タクシーについて、乗り場は駅からどのぐらい離れているのか。駅からお客様がどういう形で降りようと、駅を降りてすぐに乗れる形をお願いしたい。また、タクシープールが地下の場合に、どうやって出て、何台並べるのか。24時間地下を使う場合、出入口をどのように設けるかで一般車とのトラブルも考えられる。
- ⇒今後行政改良案をお示しする中で、絵を具体化して、より分かりやすくお見せ

していきたい。

- ・一般車や荷捌き車両について、どのように考えているのか。ルール決めをしないといけない。
- ⇒搬入車の件について、各街区を結ぶ地下車路ネットワークを構築し、搬入車、ごみ処理のパッカー車等については地下で搬入することを想定している。
- ・今後の施行展開を考えていく上では、第 1 段階ができた時点で最低限交通の整理ができていないといけない。
 - ・都市再生緊急整備地域における都市再生特別特区を利用し、1 階部分を交通に提供した場合、2 階以上の階でどれぐらい容積をもらえるのか、これからの検討事項であるとする。
 - ・構想実現案を絞り込んでいったときに、道路ネットワークの検討は追いついてくるのか。
 - ・交通は IT の発展によって大きく変わっていく。そのときに、交通広場を改築できないというのはいかがなものか。
- ⇒駅前広場を建物の下部に配置すると、建物の柱との関係で、相当の困難が伴うのではないかと想定している。
- ・駅機能の改善をどのように進めていきたいのか、早い時期にお示しいただきたい。
- ⇒駅改良計画の方向性は、平成 30 年度中に示していきたい。
- ・コンコースと地上レベルを吹き抜けと中 2 階をうまくバランスよく取り入れれば面白いまちづくりができるのではないか。
 - ・歩車分離をすることによって歩行者が車や自転車を気にしないで青空が見える空間を作るためにはデッキ構造が一番よいと思っている。
 - ・西地区案については、あくまで役員会としての意見と受け取っていただきたい。詳細な部分は今後変わることがある。
 - ・西地区は南北に長く、難しいエリアである。東西通路、交流広場、一般車の車回し、場合によっては東武駅の移設にも大きく絡んでくるエリアである。こういったものがタイトなスケジュールの中で絡んでくるが、条件が見えない中では難しい。
 - ・銀座通りに配置している一般車ロータリーを線路沿いに持っていけばいいのではないか。
 - ・駅前空間から緑が連続する中で地上に降ろしていくということも構想には書

いてある。今日の案はどちらかという人工地盤を最大限に広げてみたときの案になっていると思うが、これをうまく降ろしていくということを今後深度化していただけるといいと思う。

- ・前から住民の要望とするとグラントレベルの話がずいぶん出ていたかと思う。これからの時代を考えるとグラントレベルは非常に大事だと思っている。
- ・西の線路沿いの道の活用を検討いただくと一般車の処理の1つの案になるのではないか。
- ・防災性や渋滞などさまざまな問題に直面して一歩進んでみようということまで検討してきた。一方で、今の東口の魅力的な部分をなくさないようにしていくということをまちづくり推進部会はいつも議論してきている。こうした考え方を全員で共有し、それぞれの地区がボトムアップ型で議論していくことと、それを横連携の中で大所高所から、もう少し広域的、長期的に見ていくことを組み合わせながら、より良いものにしていけるとよい。
- ・オープン会議など、市民の方々とやりとりの場を有効に使いながら、いただいた意見を反映していければ良いのではないかと。

以上